

2025 年度第 10 回価格審査会の開催について

2025 年度 10 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2026 年 1 月 15 日(金) 10:00~12:00
場 所	本部 6 F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：小林 法雅、次長：南 昌宏 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：大澤 勝、課長：本間 哲

2025 年度第 9 回価格審査会議事録(案) 確認

2025 年度第 10 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」2月号、「Web 建設物価」2月号の価格調査の入稿状況</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（青森市ほか17都市）、H形鋼（福井市ほか6都市）、等辺山形鋼（福井市ほか6都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（千歳市ほか16都市）、道路用碎石類（遠野市）、再生碎石類（遠野市）、コンクリート型枠用合板（那覇市）、アスファルト混合物（鶴岡A地区（旧鶴岡市）ほか7都市）、耐震管路用ダクタイル鋳鉄管（直管）（全国（沖縄を除く））、コンクリート積みブロック（滑面）（水戸市）、芝（那覇市）、建築用コンクリートブロック（広島市）、600Vビニル絶縁電線（IV）（全国）、非鉄スクラップ・銅（全国）ほか。・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 再生碎石類（大阪市ほか8都市）、ストレートアスファルト（全国）、燃料油（札幌市ほか62都市）、鉄スクラップ（青森市ほか39都市）、非鉄スクラップ・鉛（東京都23区ほか4都市）ほか。 <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none">・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	遠野地区でレディーミクストコンクリートと道路用砕石類の価格が上昇しているが特殊な事情があるのか。	レディーミクストコンクリートと道路用砕石類はそれぞれ調査対象者群が異なるものの、製造・輸送コストの増加分を販売価格に転嫁したいという状況は共通しており、遠野地区に特有の事情は確認されていない。
質問 2	ストレートアスファルトは原油価格の値下がりの影響で下落したと説明があった。ストレートアスファルトの価格構成や価格変動要因を教えて欲しい。	ストレートアスファルトは、ガソリンや軽油と同様に原油から精製されるため、主な価格構成要素は原油価格と原油精製コストである。ストレートアスファルトとガソリン・軽油では価格交渉サイクルに相違があるものの、価格変動の主要因は原油相場の影響である。
質問 3	新潟地区のレディーミクストコンクリートに関して、有力な員外社が協同組合に加盟したことが組織体制の強化につながり、値上げが浸透したとの説明があった。他の地区においても、員外社の動向が価格に同様の影響を与える可能性はあるのか。	新潟地区では昨年6月に有力な員外社が協同組合に加盟したが、他にも有力な員外社が存在したため、値上げの浸透に時間を要した。員外社においても製造コストが増加している状況は同様であることから、地区内に員外社が存在する場合でも値上げが浸透することはある。一方で、価格が低迷している地区においては、員外社との競争が価格に影響を与えている。
質問 4	輸送コストの増加が値上げの要因になっているがその主な要因は人件費なのか。	運転手の人手不足、賃金水準の見直し等による人件費の影響が大きい。
質問 5	中国との関係でレアアースの問題がマスクミで取り上げられているが、掲載している資材で影響を受けている資材があれば教えてほしい。	レアアースは、モーターや電子部品等の原料として使用されているが、現時点では掲載資材への顕著な影響は確認されていない。ただし、中国からの供給制限が長期化した場合には、設備・機器等の価格や納期に影響することが予想される。
質問 6	上下水道関連の老朽化に伴う改修工事等の来年度予算が増えると聞いている。資材価格への影響について教えてほしい。	上水道や下水道の一部で使用されるダクタイル鋳鉄管は、製造・輸送コストの上昇を背景に2月号で上伸した。老朽鋳鉄管の更新工事が増加傾向にあり、耐震型ダクタイル鋳鉄管を中心に需要が高まりつつある。

質問7	建設物価に建設機械等のリース価格が掲載されている。建設用3Dプリンターがゼネコンでも使用されているが、掲載する予定はあるか。	建設物価は官庁積算で使用されるものを優先して採用しており、現在のところ、建設用3Dプリンターを建設物価に掲載する予定はない。官庁工事での適用拡大やリース条件の標準化動向を注視していきたい。
質問8	大阪地区の再生砕石の下落は万博の影響と説明コメントがあったが、和歌山も下落している。どのような要因か。	大阪地区では、もともとコンクリート廃材の在庫量が高水準で推移していたところに、万博関連の解体工事が加わり、在庫過剰な状態となった。この結果、再生砕石は供給過多となり、価格が下落した。コンクリート廃材は府県を跨いで広域に持ち込まれるケースが少ないが、再生砕石は近畿圏で市場が形成されているため、大阪地区の価格下落が市場競争を通じて近隣の和歌山にも波及したと考えられる。
質問9	ラワン合板について、先行きの見通しはどうか。	海外生産地における原材料の価格は横ばい推移しているものの、円安の影響や日本国内の市中在庫が低水準で推移していることから強含みで推移する見通しである。
質問10	銅の供給不安について先行きの見通しはどうか。	需要が供給を上回る見通しが世界的に広がり、国際的な供給不安につながっている。ただし、国内の中小物件は低調に推移していることから、国内供給への影響は限定的と予想される。
質問11	0都市価格推移において、大阪地区のみH形鋼や再生砕石の価格に変動があるのはなぜか。	大阪地区では、商習慣として市況変動が価格に反映されるまでのスピードが他地区に比べて速い傾向がある。このため、H形鋼や再生砕石についても、他地区に先行して市況変動が価格に反映され、その結果、大阪地区のみで価格変動が確認された。
質問12	無人航空機（ドローン）の利活用が増加しているなか、建設物価への掲載予定はあるのか。	特別調査として調査実績はあり、市場での価格掲載需要があることは認識している。市場での取引実態など情報収集を行っており、今後の動向を踏まえつつ、掲載の可否について検討を進めていく。
審議結果	「建設物価」2月号、「Web 建設物価」2月号の価格動向に問題はなかった。	

以上